

第6回 JCHO宇和島病院地域協議会 議事概要

【日時】平成30年2月13日（火）18:30～19:30

【場所】JCHO宇和島病院 3階講堂西

- 【議題】
1. 中期目標、中期計画（進捗状況等）について
 2. 研修医等の受入状況について
 3. 発表『宇和島保健所管内における高齢者施設の感染予防対策への取り組み～宇和島ブロック会を開催して～』
 4. 発表『医事責任者による経営マネジメントへの取り組み』
 5. 意見交換
 6. その他

【出席者】奥田 喜久美（利用者）

梶原 伸介（市立宇和島病院院長）

荃田 仁志（くきた内科クリニック院長）

友松 孝（宇和島医師会長）

廣瀬 浩美（宇和島保健所長）

毛利 正光（宇和島市保険健康課長）

（以上：五十音順）

渡部 昌平（JCHO宇和島病院院長）

矢野 達哉（JCHO宇和島病院附属老健施設長・副院長）

佐々木 修（JCHO宇和島病院副院長）

富永 康浩（JCHO宇和島病院副院長）

原 いづみ（JCHO宇和島病院副総看護師長）

斧 信之（JCHO宇和島病院事務長）

下田 哲也（JCHO宇和島病院事務長補佐（医事）（発表者））

増田 奈々（JCHO宇和島病院副看護師長（発表者））

【概要】

1. 中期目標、中期計画（進捗状況等）について

経営状況（収支、病院の1日平均患者数・患者1人1日当たり診療収入、附属老健の1日平均入所者数・通所者数）、救急車による受入患者数、紹介率・逆紹介率について説明を行った。

意見

（外部委員） 老健の経営は入所率9割以上でも厳しいのか。

(内部委員) 通所が28年度までは1日平均17、18人でしたが、今年度は平均23人程度で、やっと収支が差し引きゼロ程度です。

(外部委員) 逆紹介について、国も病診連携、かかりつけ医を盛んに言っている。増やしていく必要があるのではないか。

(内部委員) 数字のからくりで初診患者数の増など分母が増えたためであり、逆紹介そのものの実数は減っていません。ただ、JCHO全体の目標として逆紹介を上げることが決まっています。

2. 研修医等の受入状況について

研修医等の受入状況の説明を行った。

意見

(外部委員) 初期研修は2年目の先生ですか。

(内部委員) はい、そうです。

当院は研修指定病院ではありません。条件として満たすべきものは医師数の充足です。ぜひクリアしていきたいです。

(外部委員) JCHO版病院総合医の研修で来ている先生は何科の先生ですか。

(内部委員) 一般内科です。

(外部委員) 東京にあるJCHOグループ病院から来ている研修医の先生のご出身は愛媛ですか。

(内部委員) 1人は愛媛です。他はほとんど東京や関東出身です。

(外部委員) 地方から東京に行っているの、逆に引っ張り返すようアピールをお願いします。

(内部委員) アピールできるよう、引き続き継続して行っていきます。来年度も東京の3病院から研修に来ていただく内諾を得ています。

(外部委員) 四国にはJCHO病院が栗林・高知にもあるが、そちらにもJCHOグループ病院から研修医が研修に行っているのか。

(内部委員) 今年初めてで、それ以前にも医師数が足りないところには行っているとは聞いてきますが、制度として確立されたのが今年度からです。おそらくそれが拡大していくような期待がもてます。

3. 発表『宇和島保健所管内における高齢者施設の感染予防対策への取組み ～宇和島ブロック会を開催して～』

高齢者施設の感染予防対策への取組みとして「宇和島ブロック会」の活動状況等の発表を行った。

意見

(外部委員) 高齢者施設は大小数え切れないほどあると思うが、未参加施設はある程度大きな施設の 2 割ですか。

(発表者) 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、グループホーム、障害者施設、デイサービス施設には案内されています。介護サービス付き高齢者住宅には案内されていません。愛南・宇和島保健所管内 70 数施設の 2 割ほどが未参加です。

(外部委員) 介護サービス付き高齢者住宅はすごく増えてきているので、同じような対策ができれば良いと思います。

(外部委員) ノロウイルスが集団発生したら保健所に書類を提出する必要があるのか。

(外部委員) 高齢者施設は 10 人以上発生した場合などにはご報告していただき、保健所はそれ以上感染が拡大しないように施設指導を行います。この事業が始まるまでは、保健所の職員が施設指導しても効果が上がりにくかった。知識や技術を持ち具体的な指導ができる病院の認定看護師さんが施設に出て行ってくださることで、介護職員等の対応レベルが上がりポイントを押さえた対処法が定着し Win-Win の関係になって大変良かった。ただ、病院の看護師さんは負担が大きくなっているのではないかと心配しているところではあります。

4. 『医事責任者による経営マネジメントへの取り組み』

平成 30 年度診療報酬改定に向けての取り組み等の発表を行った。

意見

(外部委員) 開業医から地域連携室を通して入院の依頼をする場合、急性期病棟に入るか、地域包括ケア病棟に入るか J C H O の方で病状に応じて決めていると思うが、退院時の返事（報告）に例えば急性期病棟に入院し、地域包括ケア病棟を経由して退院したなど記載していただくと介護につながやすい。

(内部委員) 以前は包括ケア病棟を経由して退院した場合、「包括ケア病棟に入院していました」というゴム印を作り押していましたが、病棟師長が替わり、もしかしたら押していないかもしれません。確認しておきます。

(外部委員) 平成 30 年度診療報酬改定の基本方針にあった入退院支援の推進 7 項目は、全て医師が行う必要があるのか。

(内部委員) まだ、その辺りは「医師が」となっているのか「医師の指示を受けた看護師等」になっているのか出ていません。

(外部委員) チーム医療と言っていますが、病院経営には医師も含めたチーム医療が必須です。

5. 意見交換

特になし

6. その他

特になし